

## (2) AI技術とAIの違いとは？（資料①）

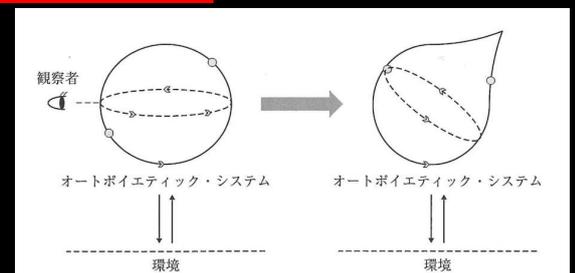
問1 現代世界では「AI」という言葉の使用の際にしばしば混同して用いられる場面がみられる。AI技術と汎用性AI（真の意味でのAI）の違いとは何か、p.1-4を読み70字程度でまとめよ。

答 「AI技術」は〔統計的手法〕で情報を処理するコンピュータ技術のことだが、「真の意味でのAI」は人間のよ  
うに〔自律的〕な能力をもったコンピュータ技術のこと。

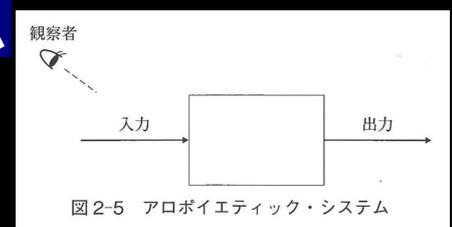
## (2) 機械と人間の根本的な違いとは？ （資料②）

オートポイエティック・システム

（オートポイエーシス）



アロポイエティック・システム



## 答え [問1 問2]

答1 オートポイエティック・システムとは，その個体が主客未分化の状態で作動するものを指すが，それはまず〔自律性〕を有し，そのもの自体で存在することから〔個性〕があるといえる。さらに個々の判断で作動するため〔境界の自己決定〕があるという特徴もみられる。

答2 ある入力をすれば常に一定の出力をするように目的化されているシステムである。

答2 (別) 実際には入出力関係に従属して動作するシステムであり，解放システムである。

## 答え [問3]

答3 AIのデータ処理の仕方はあくまでも人間があらかじめ限定したもので作っているにすぎないが，他方人間のそれは自らの判断によるものである。(66字)

Q.1 今回の内容を通じて、あなたが学んだことを述べなさい。但し、感想は不要です。さらに箇条書きではなく文章で答えなさい。

私はこれまでどちらかといえば功利主義的な考え方をしていたが、今回の授業で「義務論」という考え方を知ることができた。義務論の「道徳行為は何か別の目的のための手段であってはならない」という言葉を見て、初めて道徳の本質を可視化できた感覚があった。今まで考えもしなかった新たな気づきであった。また、自動運転システム利用中の事故は従来の「運行供用者責任」を用いるが、ノットングによって起こった事故は、政府が対応することになっていることを初めて学んだ。政府が負担するのは少し対応の仕方が違うのではなかという先生の意見にも納得し、もっと日本や世界は自動運転を実行する上での対策を練る必要があるという点も学んだ。

Q.2 今回の内容を通じて考えたこと、思ったことを述べなさい。箇条書きではなく文章で答えなさい。

功利主義も義務論も私たちの考えの基になっている考え方だと思いが、私は少し異なる考えを持っていた。これは犠牲者が人権を犠牲にするにはどうするかという点だ。カトが言う別の動機があるわけではなく、ただ皆が無事であるようにという気持ちなので、これはカトが言う真の道徳行為とも通ずるものがあるのではなかったらうか。また、自動運転に関しては、レベル4以上の自動運転の対応を政府は主に課題としているが、私はこれに完全自動運転が必要なのかと疑問に思った。新しい対応は必ず、事故が起こるかどうかも分からない状況下の今に、また完全自動運転を国が認めるのは早いのではないかと責任を負うものを客観的に捉えるべきだと感じた。

Q.3 今回「責任を負う主体」については考えましたが、果たして「責任を果たす」とはどういうことなのか、どのようにしたら責任を果たすことになるのか、今回主に取り上げた「倫理的な考え方」を極力意識してあなたの考えを述べなさい。

責任を負うというのは、負わなければならないという義務感が強いイメージがある。これは義務論に由来している考え方だ。一方、責任を果たすというのは、果たす=達成した先の別の動機を目指して行う行為。つまり道徳だと思っている功利主義的なものだと思う。責任を果たすには、自分が満足できる責任の別方、責任の受け止め方が対策に必要なのではないだろうか。果たすには、自分が納得しないと果たしたと感ずることができないのではなかったらうか。また、「負う主体」よりも「果たす」の方がポジティブに受け止めるか責任、という言葉は自律性をもたせているものに生じるものなので、自分を律し、新しい一歩を踏み出すために自分の役割を全うするということも受け止めるかもしれない。

2年〔 〕組〔 〕番〔 〕班 氏名〔 〕(A・B・C)

それぞれのQ(問)に対し8割の行数以上述べること。提出；7月31日(水)まで→肥後にそれぞれ提出

実は... (vertical text on the left margin)

今回のレポートやQ.からあなたにはいかに「哲学」を感じたか。
「果たす」をよりよくと、〇〇があるからそれをする。という地獄の... (vertical text at the bottom)